資料１

令和８年度　第１回介護保険運営協議会　振り返り資料

【開催日時】　令和８年６月２９日（月）午後１時３０分～午後３時まで

【主な内容】

報告

①令和８年度予算及び事業計画について

②高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に係るアンケート調査の結果について

③第９期計画の評価について

上記内容に関し、下記の意見・提案等があった

【質問・意見等】

NO	提案（意見）	その場の対応	対応状況
１	ヘルパーの入職率が高い一方で離職率も高く、流動的な状況であることを踏まえ、データは地域に出ているヘルパー事業所や有料老人ホーム等、実際に地域で訪問介護を担っている事業所の実情を十分に反映できているのか。	226 法人に送付し、103 事業所から回答を得ている。訪問介護事業所の回答数は不明だが、小さい事業所や大きい事業所からの回答が強く出ている可能性もある。今後、施設系かどうかも含めて分析を加える。	
２	サービス利用者数の計画数について、在宅で生活されている方への居宅サービスと、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどで提供されている居宅サービスは分けられないか。	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅のサービス利用者を分けて明示することは検討したが、現状では難しい。住民票を移していない利用者もいるため、正確な区分集計は困難。	

３	和泉市は公共交通の空白地帯への対応として、お出かけ支援事業を進めているが、地域によっては停留所まで行くのが困難な人もいる。現在の事業対象者と要支援１・２の優先に加え、要介護者や元気な高齢者への拡大、他校区の利用も可能にするなど、市による手厚い支援を検討してほしい。（意見）	回答不要	有償ボランティアは介護の有資格者ではないため、転倒等のリスクを避けるため、要介護者は対象としていません。また、移動支援は自立に向けたケアプランへの位置づけが必要であるため、要支援 1.2 又は事業対象者を対象とするものです。他校区の利用に関しては制限しているものではないため、問題ありません。
４	ボランティアの高齢化という問題がある。若い層にも参加してもらうため、有償ボランティアにするなど形を変えることを検討してほしい。（意見）	回答不要	ボランティアの高齢化は地域福祉全体の課題であり、介護保険に頼らない住民主体サービスの拡充が必要です。多世代の参画や、スポットで参加しやすい仕組みづくり、ポイント事業の創設など幅広く検討してまいります。
５	介護サービス相談員派遣事業について、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム等の「等」の中には何が入るか。また、事業に携わっている方や市内の事業を理解している方が担当するのが理想ではないか。	介護サービス相談員は事業所に所属している専門職は不可としています。「等」には、介護の施設が１つ入っており、今後は有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅ともコンタクトをとっていきたいと考えている。	等には「特定施設入居者生活介護」が該当。